鹿児島市の火災事例から学ぶ

たばこ火災について No.2

令和3年中に発生した153件の火災のうち、「たばこ」が原因の火災は13件あり、 「たばこ火の不始末」によって建物が全焼した火災もあります。

そこで、今回は、「たばこ火災」についてお伝えします。

火災の内容

通行人の方が、停車中の車の中が白煙で充満しているのを発見し、付近の方と協力して、 消火器により消火したものです。

火災の原因

原因は、車のシフトレバー付近に「灰皿とごみ袋」が置かれており、「たばこの火種」によって着火したものでした。

火災現場の写真

【焼けたシフトレバー付近の様子】



【車のシフトレバー付近を再現した様子】



たばこ火災について

たばこ火災は、火種が小さいため、周りのごみや布などに触れてもすぐに炎が上がらず、 じわじわと燻り続け、しばらく時間が経過したのちに発火に至るという特徴があります。

そこで、たばこ火災を防ぐために、以下のことに注意しましょう!

- ・ペットボトルなどを灰皿代わりにしない!
- ・吸い殼は水に浸すなどして確実に消す!
- ・吸い殻を灰皿いっぱいに溜め込まない!
- ・寝たばこ厳禁!!

